

連結財務諸表で示される会計数値の目的別使用法

財務情報の利用者側の視点から、目的ごとに、どの財務情報を利用するか、の要点を説明します。

略号の意味： B/S：連結貸借対照表

P/L：連結損益計算書

分析のための比較方法

会計数値・財務比率は、次のような方法で比較することで分析を行うことができる。[207-208 頁]

- ・ 1つの会計数値を他企業との比較で見る。
- ・ 1つの財務比率を他企業との比較で見る。
- ・ 1つの会計数値を業種平均との比較で見る。
- ・ 1つの財務比率を業種平均との比較で見る。
- ・ 1つの会計数値を前期などほかの期間の数値との比較で見る。
- ・ 1つの財務比率を前期などほかの期間の比率との比較で見る。
- ・ 1つの会計数値の時系列グラフを他企業との比較で見る。
- ・ 1つの財務比率の時系列グラフを他企業との比較で見る。
- ・ 1つの会計数値の時系列グラフを業種平均との比較で見る。
- ・ 1つの財務比率の時系列グラフを業種平均との比較で見る。

① 企業の業績を知りたい

企業の業績・経営成績・儲かっているかどうか・経営は順調かどうかを知るためには、次の数値を用いる。

- ・ **営業利益(P/L)** [38-43 頁]
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益(P/L)** [38-43 頁]
- ・ **ROE(自己資本純利益率)** [211 頁、213 頁]
- ・ **ROA(総資本事業利益率・総資産事業利益率)** [211 頁、213 頁]

これらの数字が大きい・高いほど、企業の業績がよいことがわかる。また、これらの比率の時系列グラフを作成し、前年度以前と比較して、増加している場合は、企業の業績がよいことがわかる。反対に減少している場合は、業績が悪化していることがわかる。

② 企業の株を買っていいのかわかりたい

株式投資者として、売買の対象としての株式（企業）を分析するときには、次の数値を用いる。

- ・ **ROE(自己資本純利益率)** [211 頁、213 頁]
- ・ **PER(株価収益率)** [221 頁]
- ・ **PBR(株価純資産倍率・株価自己資本倍率)** [221 頁]

ROEが高い企業は、良い投資対象となる。PER、PBRが高すぎる場合、株価は割高であり、低すぎる場合は、株価は割安であると判断される。

③ 企業の規模を知りたい

企業の規模を知るためには、次の数値を用いる。

- **売上高(P/L)** [38 頁、44 頁]
- **総資産(B/S)** [12-13 頁、211 頁]
- **総負債(B/S)** [12-13 頁、215 頁]

これらの数字が大きいほど、企業の規模が大きいことがわかる。

④ 企業の成長度合いを知りたい

企業の成長度合いを知るためには、次の数値を用いて、時系列グラフを作成する。

- **売上高(P/L)** [38 頁、44 頁]
- **営業利益(P/L)** [38-43 頁]
- **親会社株主に帰属する当期純利益(P/L)** [38-43 頁]
- **総資産(B/S)** [12-13 頁、211 頁]

これらの比率の時系列グラフが、右肩上がりに増加している場合、企業が成長しているとわかり、グラフの傾きが大きいほど、成長が急であるとわかる。成長率 [208 頁] を計算すると数値で把握できる。

⑤ 企業が倒産しないかどうかを知りたい/倒産のリスクの高さを知りたい

企業が倒産しないかどうか、倒産のリスクを知るためには、次の数値を用いて、時系列グラフを作成する。

- **自己資本比率** [215 頁]
- **負債比率** [215 頁]
- **財務レバレッジ比率** [219 頁]
- **ICR (利息カバー比率・インタレスト・カバレッジ・レシオ)** [215 頁]
- **売上高営業利益率** [212 頁]

自己資本比率が低すぎる、負債比率、財務レバレッジ比率が高すぎる、ICRが低すぎる、売上高営業利益率が低すぎる、という場合は、倒産するリスクが高いことになる。これらの比率の時系列グラフを作成し、悪化傾向がある場合は、倒産するリスクが高まっていることがわかる。

⑥ 粉飾決算をしていないかどうかを知りたい

企業が粉飾決算をしていないかどうかを推定するためには、次の数値を用いて、時系列グラフを作成する。

- **売上債権回転率** [217 頁]
- **棚卸資産回転率** [217 頁]
- **利益対キャッシュ・フロー比率** [77 頁]

これらの比率の時系列グラフを作成し、急低下や低下傾向がある場合、粉飾決算をしている可能性があることがわかる。